

個別目標2-1 | 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策2-1-1

魅力と個性あふれる都市をつくります



【10年後のめざす姿】

- 働き、学び、遊び、集い、憩い、憩いの場としての多彩な魅力を持ち、多くの人々が住み続けられ、訪れたい魅力ある都市まちになっています。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



| モノサシ(指標) | 現 状 | 25年度 | 30年度 |
|---|-----------------------|-----------|-----------|
| 住んでいるまちが魅力的であると感じる区民の割合(%) | 30% | 40% | 60% |
| 拠点駅の年間乗降人員数(千人) [※] (蒲田駅、大森駅、羽田空港駅) | 276,711千人 (平成19年度) | 291,000千人 | 294,000千人 |

※JR蒲田駅、東急蒲田駅、JR大森駅、京浜急行線の羽田空港駅、東京モノレールの羽田空港第一ビル駅及び第二ビル駅のそれぞれの鉄道事業者が発表した乗降人員数の合計です。

【現状と課題】

大田区は、古くから住宅、工業、商業などの多様な用途が混在した市街地を形成してきました。近年では、住宅系の開発が増加するなど、商業・業務系の土地利用への影響が懸念されています。

蒲田駅、大森駅周辺地区は、大田区のにぎわいの中心拠点であることから、誰からも愛され、何度も訪れたい魅力のあるまちとして、そして、区民が誇れるまちとして整備することが求められます。また、羽田空港が隣接している立地を活かし、国際化を視野に入れたまちづくりを進めていくことが必要です。

区内には、池上、大岡山など私鉄駅を中心とした地域拠点も数多く形成され、区民の日常生活を支えています。各駅周辺地区は、地域の個性を活かしながら、日常生活に必要な商業・サービス・公共施設等の多様な機能が集積し、高齢者や環境などに配慮した利便性の高いまちづくりに取り組む必要があります。

京浜急行沿線の京急蒲田、糀谷、雑色の3駅周辺では、地域住民などが中心となってまちづくりが検討されています。駅前空間や住・商業環境を改善するために、まちづくりの活動を積極的に支援していく必要があります。

大田区の特徴を活かした、住宅、工業、商業等の多様な機能が調和するまちづくりをそれぞれの地域で進めていくためには、区民、事業者*が連携し、総合的・計画的な土地利用を図ることが重要です。まちづくりガイドライン、地区計画制度*によるまちづくりのルールづくりなど、地域の将来像を見据えた取り組みを進めていく必要があります。

【施策の体系】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

魅力と個性あふれる都市をつくります

国際都市おおたの魅力づくり

都市計画マスタープランの改定

蒲田駅周辺のまちづくり

大森駅周辺のまちづくり

羽田空港跡地・周辺部の整備

個性が光るまちづくり

身近な地域の魅力づくり

京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり

歴史と文化のまちなみづくり

人がにぎわう道づくり

みんなでつくるまちづくり

まちづくり支援制度の整備

区民との協働*の推進

区有施設再活用・再構築の円滑な実施

大田区の風景



【 施策の方向性と主な事業 】

①国際都市おおたの魅力づくり

大田区の特徴を活かしたまちづくりを進めるため、長期的なまちづくりの指針となる都市計画マスタープランの改定を行うとともに、にぎわいの中心拠点である蒲田・大森駅周辺地区では、羽田空港の再拡張・国際化を視野に入れながら都市基盤整備を進め、地域の活性化に寄与するまちづくりを誘導します。

| 計画事業名 | 蒲田駅周辺のまちづくり | | | | | | |
|------------|---|----|----|----|----|----|-------|
| 主な取組内容 | 世界への玄関口となる羽田空港を活用し、大田区を中心拠点にふさわしい魅力と活力あるまち蒲田をめざします。そのため、交通結節機能*を充実し、都市機能を更新するとともに、まちの安全や景観の向上に取り組みます。 | | | | | | |
| | (平成/年度) | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26～30 |
| 将来構想の調整・策定 | | → | | | | | |
| 将来構想の計画的実施 | | | → | | | | 検証 |
| 旧逆川の整備 | | → | | | | | 完了 |

| 計画事業名 | 大森駅周辺のまちづくり | | | | | | |
|----------------------|--|----|----|----|----|----|-------|
| 主な取組内容 | 歴史と文化と浜風のかおる、にぎわいと交流のあふれるまち大森をめざした駅周辺のまちづくりを推進します。(仮称)大森北一丁目開発により、区有地を有効に活用し、大森のまちのにぎわいを創出する拠点として複合施設を整備します。 | | | | | | |
| | (平成/年度) | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26～30 |
| 基本調査による将来構想(案)の検討・策定 | | → | | | | | |
| 将来構想の調整・策定 | | | → | | | | |
| 将来構想の計画的実施 | | | | → | | | 検証 |
| (仮称) 大森北一丁目開発 | 民間事業者による複合施設の建設 | → | | | | | |
| | 民間事業者による複合施設の管理運営 | | | → | | | 継続 |

②個性が光るまちづくり

区民の日常生活を支える地区の拠点を形成・整備するため、区内各駅周辺地区において、商業・サービス機能が集積し、高齢化や環境にも配慮した個性とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

| 計画事業名 | 身近な地域の魅力づくり | | | | | | |
|-------------|--|----|----|----|----|----|-------|
| 主な取組内容 | 私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力と活力がみなぎるまちを推進するため、安全で快適な歩行空間を確保し、地域活性の拠点となる整備を進めます。 | | | | | | |
| | (平成/年度) | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26～30 |
| 地域まちづくり拠点整備 | | | | | | | 継続 |

| 計画事業名 | 京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり | | | | | | |
|----------------|--|----|----|----|----|----|--------------|
| 主な取組内容 | 京浜急行線連続立体交差事業を契機に、京急蒲田駅西口、糎谷駅前及び雑色駅の周辺地区において、駅前環境や住・商業環境の整備、防災機能の向上等を図るため、市街地再開発事業*等による整備を目標とする、関係権利者組織の活動を支援します。あわせて、駅前拠点の整備における公共サービスの提供について、方針や可能性などの検討を行います。 | | | | | | |
| | (平成/年度) | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26～30 |
| 再開発等事業化支援(3地区) | | | | | | | 完了 (26年度) |
| 公共サービス提供に関する検討 | | | | | | | |

③みんなでつくるまちづくり

区民、事業者、行政等が連携してきめ細やかなまちづくりを進めるため、まちづくり条例の制定やまちづくりのルールづくりへの支援制度拡充などに取り組みます。また、道路や公園などの整備や維持管理、活用を区民の協力を得ながら進めます。